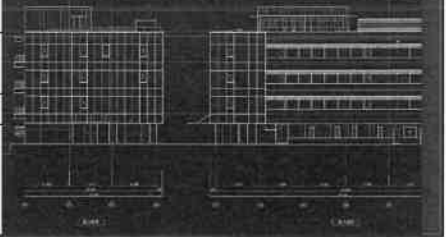


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	富永製作所 本社棟	階数	地上5F
建設地	京都府久世郡久御山町田井東荒見	構造	S造
用途地域	工業専用地域、防火指定なし	平均居住人員	0人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,380時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年9月 予定	評価の実施日	2020年5月18日
敷地面積	7,647㎡	作成者	足立 明
建築面積	788㎡	確認日	2020年5月18日
延床面積	2,975㎡	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100%

②建築物の取組み: 27%

③上記+②以外の: -36%

④上記+: -36%

目標値: 1395 (kg-CO2/年・㎡)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Qのスコア = 2.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.4

音環境	3.0
温熱環境	2.0
光・視環境	2.6
空気質環境	2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

機能性	3.1
耐用性	2.5
対応性	2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.3

生物環境	1.0
まちなみ	1.0
地域性	2.0

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

建物外皮の	5.0
自然エネ	5.0
設備システ	4.2
効率的	2.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

水資源	3.4
非再生材料の	2.7
汚染物質	2.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.1

地球温暖化	1.0
地域環境	2.6
周辺環境	2.4

3 設計上の配慮事項	
総合	その他
外観は既存建物及び周辺建物との調和を考慮し、低層で安全な建物となるように計画した。	
Q1 室内環境 外皮に断熱材を施工し、建築物の負荷軽減に配慮した。	Q2 サービス性能 天井高を高くし、ゆとりのある居住空間となるように計画した。 リフレッシュスペースを充実させた。
LR1 エネルギー 太陽光発電設備の導入	LR2 資源・マテリアル 仕上工事における乾式工法の採用
	LR3 敷地外環境 敷地内の駐車スペース、駐輪スペースを充実させる計画とした。
	Q3 室外環境(敷地内) バルコニー、庇や屋上広場、パーゴラの設置。 敷地内建物を分棟配置とし、風の通りを良くした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される